

| | |
|-----------|--|
| 機関名 | 鳥取市 |
| 任命権者 | 鳥取市長 |
| 評価年度 | 令和3年度 |
| 目標に対する達成度 | <p>①採用に関する目標 各年6月1日時点の実雇用率について法定雇用率を上回る。 令和3年6月1日時点実雇用率 2.67% (法定雇用率:2.6%)</p> <p>②定着に関する目標 不本意な離職者を極力生じさせないとともに、生じた事例がある場合は計画の見直しを含めた取組内容の強化を図る。 令和3年度採用者6名に対し、年度中途の離職者は0名であった。</p> <p>③満足度に関する目標 毎年の在籍障がい者の満足度に関するアンケート調査結果を踏まえて、必要に応じて計画の見直しを含めた取組内容の強化を図る。 アンケートにおける満足またはやや満足の割合は73.33%となった。</p> |
| 取組内容の実施状況 | <p>(1) 障がい者の活躍を推進する体制整備 ア 組織面 ○令和3年4月1日付で職員課人事担当の職員を障害者職業生活相談員に選任した。 ○組織内の人的サポート体制について周知したり、組織外の関係機関との連携を図った。</p> <p>イ 人材面 ○鳥取労働局による「障害者職業生活相談員資格認定講習」を相談員選任予定者1名が受講、「とっとり障がい者仕事サポーター養成講座」を合計9名が受講した。</p> <p>(2) 障がい者の活躍の基本となる職務の選定・創出 ○個別面談や各課へのヒアリングによる職務の選定・創出を行った。</p> <p>(3) 障がい者の活躍を推進するための環境整備・人事管理 ア 職務環境 ○アンケートや面談で、必要な配慮を把握し、できる範囲で対応した。</p> <p>イ 募集・採用 ○募集や試験実施の際に、点字の案内の作成等の配慮を行った。</p> <p>ウ 働き方 ○フレックスタイム制度など利用可能な制度や各種休暇について、全庁的に周知し、利用促進を図った。</p> <p>エ キャリア形成 ○各種研修について、全庁的に案内し、受講機会の確保に努めた。</p> <p>オ その他の人事管理 ○定期的な個別面談や人事異動の際の面談、就労パスポートの作成などにより、適切な支援や配慮を行った。</p> <p>(4) その他 ○国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく、障がい者就労施設等への発注を引き続き積極的に行ったが、令和3年度の目標達成度は99%となった。</p> |